

環境共生地域学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 濱野周泰

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

地域温暖化や環境汚染など生活環境の悪化によって、地球全体の生態系や人々の健康が大きく懸念されている。このような地球と生命を脅かす問題を解決する方策のひとつとして「環境共生社会の実現」が求められている。本専攻の特性として、環境・自然・資源と生物の共生を果たすため、自然科学、社会科学、人文科学を融合した新しい切り口で総合的に研究を進めることがある。

本論では、地域環境と植物・植生、それらと社会・人文的要素によって形成される緑地を対象として環境共生社会の実現に繋がる成果 (博士論文) の完成に向けての適切なアドバイスを旨とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域環境 生態系 植物群落 植生
代償植生 土地利用 都市化 ランドスケープ

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	地域環境と植物	生態分布, 環境形成	授業内容を各自の論文テーマに対応させて掘り下げる。 また、各講義では、講義資料としてプリントを配布するので講義後も参考にして復習すること。
2	植物の生態的役割	生産者, 一次消費者, 食物連鎖	
3	緑地と生態系	生物群集, 無機的環境	
4	日本の植物群落	気候, 森林帯	
5	地域環境と植物群落	郷土植物, 地域景観	
6	植物群落の捉え方	種, 群落測度, 形状寸法	
7	植物群落と構造	自然植生, 代償植生, 階層構造	
8	緑地の種類と植生	奥山, 里山, 田園, 都市, 植栽, 配植	
9	緑地の保全	土地利用, 市民意識,	
10	植生の働き	生理的機能, 物理的機能	
11	植生の評価と手法	地域環境, 環境アセスメント	
12	植生の保護と管理	ミティゲーション, 外来植物	
13	植生の破壊と復元	社会活動, 過度利用, 生育基盤整備,	
14	都市空間と植生	都市環境と植物	
15	造園空間と植生の創造	快適空間の創造, ランドスケープ	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)
植物の分布と環境適応/ 酒井 昭 / 朝倉書店 (1995)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)
樹木学 / 濱谷稔夫 / 地球社 (2008)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

当該博士論文のテーマにふさわしいレポート提出により評価する (100%)。

◆オフィスアワー

メールなどで事前に予定を打ち合わせるので、特に設定していない。

◆その他受講上の注意事項

快適環境を創造する要素としての植物について、幅広い教養、実用的な発想、多角的な見方をもって取り組むことを期待したい。